

授業科目	心理測定法				
担当者	松井理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

言語聴覚士の仕事で用いられる各種心理測定法の意味に関する理解を深めると共に、人間の心理を客観的に把握する方法の必要性を理解するための基本的な内容を解説します。

### ■ 到達目標

言語聴覚士が臨床現場で用いている各種検査方法がどのような基盤を持っているのか、検査結果のデータを正しく処理するために必要なことは何かを正しく理解できるようになることを目指します。

### ■ 授業計画

- 第1回 測定と尺度
- 第2回 代表値・散布度・相関度
- 第3回 信頼性と妥当性
- 第4回 精神物理学的手法：調整法と極限法
- 第5回 精神物理学的手法：適応法・恒常法
- 第6回 評定法など、その他の心理実験手法
- 第7回 投影法とその問題点
- 第8回 精神物理学関数：Weber の法則
- 第9回 精神物理学関数：Fechner の法則
- 第10回 精神物理学関数：Stevens のベキ法則
- 第11回 信号検出理論
- 第12回 判断の確からしさの指標
- 第13回 正規分布について
- 第14回 統計学の基礎
- 第15回 実験計画法の基本

### ■ 評価方法

学期末のテストによって成績評価を行います。筆記試験での評価が100%となります。

### ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は90分程度が必要です。また、復習時間は個人の理解度によりませんが、1時間程度必要になるでしょう。

### ■ 教科書

書 名：プリントと web 教材を用います

### ■ 参考図書

### ■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。